電子オルガン・スタジオエレクトロニクス 1

担当教員	上原 直

授業形態	配当年次	期　間	対象コース	科目分類	単　位	科目コード
演　習	1～4	通　年	EO	専門選択（各コース）/専門選択	2	1978

1 主題・到達目標

①電子オルガン・ソロ演奏の可能性を探る
YAMAHA STAGEAのさまざまな機能を音楽的に有効活用する方法を学びます。
②様々な音楽ジャンル(クラシック/ジャズ/ポップス等)の代表的な曲のテーマ部分の音色をSTAGEAで創り、その再現法と演奏表現法を学びます。
③電子オルガンと周辺機器
（1）YAMAHA STAGEAとコンピュータを接続し、様々な音楽シーンに対応する能力を身に付ける
（2）音楽系アプリケーション（Digital Audio Workstation、波形編集 & 楽譜浄書）の操作法を習得します。
④電子オルガン関連の学内演奏会音響スタッフを経験し、ライブでの音響設定や演奏会の進行等を学びます。

2 授業概要

授業の課題は、授業内または数日前にインターネット経由で配布されます。
（個人用コンピュータを所有していない学生は図書館のコンピュータを使用可）
学生はその課題をプリントアウトし、木曜日の授業までに実施します。
授業内で全員で課題を試聴及び演奏します。

3 授業時間外の学習（予習・復習について）

STAGEAの取扱説明書を熟読しておくこと。

4 成績評価の方法及び基準

出席率（評価の30%）
授業への参加姿勢（評価の20%）
授業内の小テスト及びレポート（評価の50%）

5 授業で使用するテキスト・参考文献

自主テキストを配布します。

6 前提科目

特になし

7 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

人数によっては履修を制限する場合があります。

授業計画

[前期]

電子オルガン STAGEAの様々な機能を音楽的に有効活用する方法を学びます

1	レジストレーション ① クラシック音楽編
2	レジストレーション ② ポピュラー音楽編
3	レジストレーション ③ エレクトロミュージック編
4	STAGEA用拡張スピーカー YAMAHA MSR400+800Wとの接続 ① ソロ編
5	STAGEA用拡張スピーカー YAMAHA MSR400+800Wとの接続 ② アンサンブル編
6	エフェクトの概念と活用法 ① リバーブ・ディレイ系
7	エフェクトの概念と活用法 ② モジュレーション系
8	エフェクトの概念と活用法 ③ 複合エフェクト系
9	ボイスエディット ① 基本編
10	ボイスエディット ②
11	ボイスエディット ③ Filterの活用法
12	ボイスエディット ④ L.F.Oやエフェクトを使ったSFX音色
13	リズムプログラミング（基本編）
14	リズムプログラミング（様々なジャンルのリズムパターン）
15	リズムプログラミング（変拍子 & 高度なプログラミング）

[後期]

電子オルガン STAGEAと周辺機器を使用し、様々な音楽シーンに対応する能力を身に付ける

1	シンセサイザー実習 ①
2	シンセサイザー実習 ②
3	シンセサイザー実習 ③
4	シンセサイザー実習 ④
5	STAGEAとコンピュータを繋ぐ ①
6	STAGEAとコンピュータを繋ぐ ②
7	STAGEAのXG音源の有効活用法 ①
8	STAGEAのXG音源の有効活用法 ②
9	オーディオ録音、波形編集、楽譜浄書ソフト活用法 ①
10	オーディオ録音、波形編集、楽譜浄書ソフト活用法 ②
11	オーディオ録音、波形編集、楽譜浄書ソフト活用法 ③
12	オーディオ録音、波形編集、楽譜浄書ソフト活用法 ④
13	映像とシンクロした作品制作法 ①
14	映像とシンクロした作品制作法 ②
15	作品発表